

「楽しい時間のために使ったお金が、別の場所で大きな力になる」

「第4回GOSPEL FOR PEACE」2013年6月1日撮影・北川鉄雄

【支援国】
ラオス、
カンボジア

貧困家庭の子どもに奨学金を!

【提携】一般財団法人国際センター
つながりのきっかけ: JENNAが高校生のとき、横浜で開かれていた国際協力フェスタの出展ブースに立ち寄ったこと

現地の状況

ラオスでは、農村部の小学校の卒業率は2006年で67%（現在はさらに改善されています）。カンボジアでは6~8割、しかし地域によっては5割に満たない学校もあります。農村部では両親が農業を営んでいるケースがほとんどですが、家の水田で1年に収穫できるお米は家族の3か月分というケースも。農業だけでは食べていけないのが現実です。家計を助けるため多くの子どもが、森に入り食べ物を探すために登校できません。学校に行けなければ字を読むこともできず、将来はまた農業しか選択肢がなくなってしまいます。

私たちの支援

「一般財団法人国際センター」の「ダルニー奨学金」を通じてラオス、カンボジアの子どもたちに奨学金を送っています。ダルニー奨学金は、1万円で1年分の奨学金になるという制度です。

2011年には「ラオスツアー」も実現。歌での交流や、子どもたちへの青空教室実施などを通して“村の歴史に残る日本人”という光栄な言葉をいただきました！奨学生との交流も実現。小学3年生から支援している生徒は今年、中学生3年生になりました。

支援の経過・成果

【GQファミリー奨学生】118人
(内訳) 現在小中学校に通っている子ども: 102人
中学校まで私たちの奨学金で卒業: 3人
小学校まで私たちの奨学金で卒業: 10人 (上記3人は含まず)
単発イベントなどで、1年分のみ支援した生徒: 3人

奨学金は、貧困家庭の両親や子どもたちにとって大きな励みになっているようです。奨学金を受け取った子どもは、勉強にも熱が入ります。学校に通い続けて基礎教育を終了したいと思っている子どもたちや、せめて小学校や中学校を卒業させたいと思っている両親は、まだまだたくさんいます。奨学金は、希望する生徒数に対して大幅に不足していますが、GQファミリーでは今後も送金を続けていきます。

**Sing in Unity.
Live in Peace.**

【発行】
2013年7月
NGOゴスペル広場
<http://www.gospelhiroba.com>

2013年5月までの支援総額: 3,162,674円

【支援国】
スリランカ

裁縫技術訓練で、女性たちの自立支援を!

【提携】NGO TECHJAPAN (2013年6月よりレディスソーイングスクールに改名)
つながりのきっかけ: JENNAがOL時代に、井の頭公園で開かれていた国際協力フェスタの出展ブースに立ち寄ったこと

現地の状況

スリランカ北東部では、2004年のスマトラ沖地震による津波と、25年余り続いた内戦の二重被害により、多くの人が家族や家や職業を失いました。特に、夫を失った女性たちや、その子どもたちが、今も貧困状態にあります。

私たちの支援

在日スリランカ人女性ドリニさんが立ち上げた「NGO TECHJAPAN」を通じて、トリンコマリーという町に職業訓練のための裁縫センターが2008年10月にオープンしました！

翌2009年からは「チャリティースカート」プロジェクトが始動。当時のGQメンバー・るみちゃんの協力で可愛いオリジナルデザインのスカートやシュシュを発注 ⇒ 現地で縫製 ⇒ GQスタジオやイベントで販売。まだプロレベルではない女性たちの“練習台”的商品として、縫い目が曲がっていたり、生地の向きが違ったりしてもA~Dの4段階で評価し、全てを買い取り、その評価を写真つきで報告し、スキルアップに役立てもらおうという企画です。

現地には、練習用の布や糸という贅沢なものはありません。「注文」を受けて初めて作業ができます。たくさん経験を積んでもらい、技術を磨いてもらおうという思いからの、私たち独自の支援方法です。

支援の経過・成果

2013年5月までの支援総額: 2,089,904円

5年間の歩み ~主なイベント &すべての国際協力送金履歴~

年	イベント	内容	費用
2008	Charity Gospel Marathon2008(5月)	第1弾イベントはBee芦原さん、Bro.Taisukeさんをゲストに“200人で5時間ゴスペル！”収益金でスリランカに裁縫センターをオープン。	800,000円
	JAPAN GOSPEL FESTIVAL(6月)	渋谷に「ゴスペルスクエア」オープン(6月) 入会金から3万円でラオスに3人の奨学生誕生！	30,000円
	スリランカ訪問ツアー(10月)	ゴスペルスクエア4名とTECHJAPAN関係者で、トリンコマリー裁縫センターのオープニングセレモニーに参加。	
	Gary Hines 来日ワークショップ(10月)	グラミー賞受賞アーティストの来日ワークショップツアー、東京会場を主催し収益金をラオスの小学生10人の奨学生に	100,000円
	「ゴスペルスクエア」のメンバー数が300人を突破(12月)		
	08年の会費からの支援金	スリランカ: 92,168円 ラオス: 10万円 ネパール: 107,832円	
	計300,000円		
2009	「サニーサイドゴスペルクラブ」三重、横浜でスタート(2月)		
	「魂の仕事人」(Webメディア)で連載記事(2月)		
	第1回 Gospel For Peace(4月)	@こまはエミナス 初の自主チャリティコンサート開催。スリランカ、ラオス、ネパールを支援	223,565円
	Dream Gospel Workshop2009	ゴスペルスクエアとサニーサイドの交流イベント。初年度は津・横浜で開催、セネガルへ寄付	106,800円
	間寛平アースマラソン「エオラスの詩」日テレ 大西洋横断中継イベント出演(8月)		
	「サニーサイドゴスペルクラブ」立川、町田でスタート(10月)		
	「ゴスペルスクエア」のメンバー数が500人を突破(12月)		
	09年の会費からの支援金	【ゴスペルスクエア】スリランカ: 25万円 ラオス: 18万円 ネパール: 8万円 セネガル: 8万円 【サニーサイド】カンボジア: 100,000円 ピースカードなどその他の独自企画: 36,900円	計590,000円
	計136,900円		
2010	チャリティーCD「Unity」発売(1月)	1500枚の販売収益から井戸ポンプ1台を購入 メンバーからの1万円の寄付、新聞に載ったことから100万円の匿名寄付をいただき、現地の資材費に。	150,000円
	「サニーサイドゴスペルクラブ」長野でスタート(2月)		
	第2回 Gospel For Peace(3月)	@新宿文化センター 大ホール スリランカ、ラオス、ネパール、セネガル、ケニアを支援	1,010,000円
	「サニーサイドゴスペルクラブ」埼玉、船橋でスタート(6月)		
	「NYマクドナルド・ゴスペル・フェスティバル鑑賞ツアー」を実施(6月)		
	「ゴスペルスクエア・ファミリーの総メンバー数が1000人を突破(6月)		
	スリランカフェアを「ゴスペルスクエア」で初開催	支援している裁縫センターで作られたスカートなどを販売し、売上金を現地へ。	47,200円
	Dream Gospel Workshop2010	津、横浜、立川、町田、長野で開催、カンボジアへ寄付	90,000円
	ケニア訪問ツアー(10月)	9日間のツアードに11名が参加。マサイの村を訪問し、井戸ポンプを寄贈。	
	10年の会費からの支援金	【ゴスペルスクエア】スリランカ: 22万円 ラオス: 20万円 フィリピン: 10万円 セネガル: 10万円 ケニア: 15万円 【サニーサイド】カンボジア: 307,000円 横浜によるネパール支援などの独自企画: 30,000円	計770,000円
	計337,000円		
2011	「サニーサイドゴスペルクラブ」名古屋でスタート(2月)		
	Sing For Japan!「Anthem For Unity~心をつなぐ賛歌~」完成(3月)		
	TV東京「地球VOCE」取材、放映(5月)		
	キッズとママのゴスペルクラブ「ネバーランド」吉祥寺、国分寺でスタート(6月)		
	Glory Gospel Singersの来日ワークショップ開催協力(7月)	NYの有名クリエイターによる初の東京ワークショップ。	
	被災地・石巻LIVE(8月)	13名のメンバーが訪問し、コンサートとボランティア活動を実施	
	横田基地黒人教会礼拝初出演(8月)	以後、ローブ牧師のグッドショーバード教会への定期出演が実現	
	第2回スリランカフェアを開催	支援している裁縫センターで作られたスカートなどを販売し、売上金を現地へ。	70,900円
	Dream Gospel Workshop2011	津、横浜、立川、町田、開催、カンボジアへ寄付	59,012円
	ラオス訪問ツアー(10月)	10人のメンバーでラオスの農村を訪れ、奨学生の子ども達と交流	
	11年の会費からの支援金	【ゴスペルスクエア】スリランカ: 20万円 ラオス: 23万円 フィリピン: 10万円 セネガル: 10万円 ケニア: 15万円 【サニーサイド】カンボジア: 512,500円 横浜によるネパール支援などの独自企画: 48,000円 【ネバーランド】カンボジア: 1万円	計780,000円
	計560,500円		10,000円
2012	「サニーサイドゴスペルクラブ」のメンバー合計数が1000人突破(1月)		
	CD「GOSPEL JAPAN」発売(1月)	J-POPゴスペル調にアレンジして歌うという企画に初挑戦	405,781円
	第3回 Gospel For Peace(3月)	@新宿文化センター 大ホール スリランカ、ラオス、ネパール、セネガル、ケニアを支援	13,000円
	タイ洪水緊急支援	ブックオフと民謡センターの共同企画で、メンバーから集めた古本やCDなどの売上金がタイの奨学生に。	14,200円
	第3回スリランカフェア開催	支援している裁縫センターで作られたスカートなどを販売し、売上金を現地へ。	
	福岡ワークショップ開催(5月)	福岡JENNAが初の出張ワークショップ。収益金がラオスの奨学生1年分に。	10,000円
	NHK「グランジュ」取材、放映(5月)		
	Dream Gospel Workshop2012	船橋、町田、立川、津、名古屋、横浜で開催 カンボジアへ寄付	94,800円
	「サニーサイドゴスペルクラブ」宇都宮・北千住・新宿・池袋スタート(10月)		
	オーディションから男女17名のプロ志向ユニット「GQjam」結成(10月)		
	12年の会費からの支援金	【ゴスペルスクエア】スリランカ: 20万円 ラオス: 24万円 フィリピン: 10万円 セネガル: 10万円 ケニア: 15万円 【サニーサイド】カンボジア: 631,000円 横浜によるネパール支援などの独自企画: 48,000円 【ネバーランド】カンボジア: 1万円	計790,000円
	計679,000円		10,000円
2013	CD「GOSPELコラス入門～ベストJ-POP編～」発売(3月)	J-POPゴスペル第2弾	
	キッズとママのゴスペルクラブ「ネバーランド」橋本でカルチャー校スタート(4月)	橋本でカルチャー校スタート(4月)	
	送金総額:	8,513,304円	

【支援国】
フィリピン、
ネパール

貧困解消を様々な角度で支援!

【提携】特定非営利活動法人ChildFund Japan

つながりのきっかけ:
JENNAが高校生のころ、グローバルフェスタに出展していたブースに立ち寄ったこと



現地の状況

フィリピンではいまだ貧困層が多く、特に農村部や少数民族の村では、食べていくのも困難な生活を送る人々や、学校を卒業できない子どもたちが存在します。一握りの大地主が大邸宅を構える一方で、多くの人が安定した収入もなく、台風で屋根が吹き飛んでしまうような家に暮らしています。

ネパールでは国の半分以上が山岳地帯であり、病院のない県や、病院があっても医師や設備が不足している地域が多く、乳幼児や妊産婦の高い死亡率が問題となっています。

私たちの支援・成果

「特定非営利活動法人ChildFund Japan」の行っている、貧困軽減のためのさまざまな期間限定プロジェクトに寄付をしています。

【ネパール 地域病院支援】(GQファミリーの支援期間:2008~2010)

18万人の人口を抱える、オカルドゥンガ郡にあるたったひとつの病院の医療活動を支援。同郡は、ネパールの中でも母親の出産死亡率が特に高い10郡の中に入る地域です。56ヶ村と近隣5郡の住民を対象に、子どもたちへはしかやBCGなどの予防接種、学校への駆虫剤の配布、家庭へのトイレ建設などの保健活動を行いました。
(支援総額: 337,291円)

【フィリピン パラワン族生活改善】(GQファミリーの支援期間:2010~2012)

フィリピンの中でも、最も開発が遅れているパラワン島では、マラリア感染率が国内で最も高く、医療サービスの不足から多くの人々が命を落としています。貧困にあえぐパラワン族の人々を対象に、栄養改善、マラリア対策支援、教員・保健ボランティア育成などを行いました。保健・医療、識字教育などの活動が、住民による保健ボランティアによって維持、継続されるような制度が構築され、支援プロジェクトが終了となりました。
(支援総額: 259,663円)

【フィリピン 台風被災者支援】(GQファミリーの支援期間:2013~)

2012年12月4日にフィリピンのミンダナオ島を直撃した台風24号で被災した人々の緊急支援。子どもたちのこころのケア、損壊した家屋の再建のための資材支援、物資支援などを行っています。
(支援総額: 100,000円)

2013年5月までの支援総額: 696,954円

【支援国】
セネガル

子どもたちの教育環境の改善を!

【提携】バオバブの会

つながりのきっかけ:
GQ2年目、JENNAが浜松町のアフリカンレストランで開かれていたバオバブの会支援の催しに参加したこと



現地の状況

日本では当たり前の学校環境は、セネガルにはありません。現地の多くの学校には充分な教材や教室がなく、1冊の教科書を3人で使ったり、1つの教室を3つの学年で使ったりしています。机や椅子も足りず、家から腰掛を持ってきて膝の上でノートを取る子どもも少なくありません。

独裁政権の多いアフリカでは、教育を受けて文字や知識を学ぶことは、将来の仕事のためだけではなく、民主化を促す重要な力になります。

私たちの支援

横浜在住のセネガル人、マサンバさんが日々の里帰りで学校の貧しさを目の当たりにし、日本の仲間たちに呼びかけたことからスタートした「バオバブの会」に寄付をしています。

バオバブの会の支援を受けた小学校では、支援開始から6年目、中学校への進学試験で合格者が約4倍に増えたと

いう報告が届いています。

支援の経過・成果

寄付したお金は、2012年には学校の長机、電気設備、体操マット、外国語辞書などの購入に使われました。支援を受けた中学校からは「長机に座れるようになり、子どもたちが喜んでいる」「電気設備のおかげで、生徒たちは夜間も授業の復習ができるようになった」「映画やドキュメンタリーの映写を取り入れることが実現し、授業が理論ばかりでなく楽しいものになった」「英語とスペイン語の辞書を購入し、外国語の授業を充実させることができた」などの感謝の声が届いています。

2013年5月までの支援総額: 644,975円

【支援国】
ケニア

泥水を飲む人たちに井戸を!

【提携】特定非営利活動法人International Water Project

つながりのきっかけ:
2009年にNGOゴスペル広場が取り上げられた「ソトコト」に、同じく記事として取り上げられていたのをJENNAが読み、連絡を取ったこと



現地の状況

ケニアでは、いまだ井戸が不足し、不衛生な水によって病気にかかったり、何キロも離れた井戸への水汲みが子どもたちの就学機会を奪ったりしています。

井戸のない地域では、像や家畜の糞が混じる川の泥水でさえも飲料水として使用せざるを得ません。「透明な水」は見たことがありません。2008年には人口500人のコミュニティで、実際に27人がコレラで命を落としたそうです。

私たちの支援

「非営利活動法人International Water Project」へ井戸ポンプの購入費を寄付しています。このプロジェクトで掘る井戸は、「上総掘り」(かさざぼり)という日本の伝統的な技術を元にして開発されました。資機材は全て現地での基礎ボイトレもあり、子どもたちが自然に英語&音楽に親しめるプログラム作りを目指す。イベントでは、本場のシンガーVincento先生との共演の機会も。現在、計75組のファミリーが親子でゴスペル

を歌う時間を楽しんでいる。

<先生> パンビ(国分寺、橋本)、Barbie(吉祥寺)

このほか、2012年10月にはプロダクションと合同で一般公募のオーディションを開催し、メジャーデビューを目指すプロ志向ユニット「GQjam」が誕生しました!

GOSPEL

「Sing in Unity. Live in Peace.」(みんなでひとつになって歌い、平和に生きよう)を合言葉に、2008年6月に渋谷でスタートしたGQファミリー。現在は全国20拠点で活動中!

【渋谷】GOSPEL SQUARE(ゴスペルスクエア) 略称:GQ

<http://www.gospel-sq.com>

2008年6月「歌うことが国際協力になるゴスペルスタジオ」として渋谷でスタート。本場黒人教会で経験を積んだGQファミリー代表のJENNA(旧名Nana Gentle)、およびNY出身のSchanita、Vincentoという2人のアーティストが講師を務める。メンバー数約500人。好きなベースで通えるチケット制で、初心者から経験者まで幅広い年齢層のメンバーがゴスペルを楽しんでいる。TV東京「地球VOCE」やNHK「グラニジュテ」など、メディア取材も多数。

【全国】Sunnyside Gospel Club(サニーサイドゴスペルクラブ)

<http://www.sunnyside-gc.com>

2009年2月にゴスペルスクエアの支部として三重と横浜でスタート。「サニーサイドの心得 ①過ぎたことは忘れるべし ②明日のことは神に任せんべし ③我を忘れてゴスペルを歌うべし ④明るい気持ちで家に帰るべし」 2013年6月現在の活動拠点は全国16か所(横浜、新宿、池袋、北千住、立川、町田、船橋、大宮、所沢、宇都宮、長野、名古屋、三重県内4か所)。メンバー総数は約1300人。サークル的な和気あいあいとした雰囲気で、ゴスペル仲間の輪が広がっている。

クリーダー> こにたん(三重、名古屋、新宿)、ゆか(横浜)、ひろみ(立川、北千住)、アズちゃん(町田、宇都宮)、ノブ(埼玉、池袋)、YANAGI(船橋)、えるむ(マネージャー:長野)

【東京都】キッズとママのゴスペルクラブ「Neverland」(ネバーランド)

<http://www.neverland-g.com>

2011年6月にスタートした、ベビーから小学生までのキッズ&ママが一緒に通えるゴスペルクラブ。2013年6月現在の拠点は、国分寺、吉祥寺、橋本の3か所。歌詞の英語には全てネイティブの発音見本を用意、歌の練習には基礎ボイトレもあり、子どもたちが自然に英語&音楽に親しめるプログラム作りを目指す。イベントでは、本場のシンガーVincento先生との共演の機会も。現在、計75組のファミリーが親子でゴスペルを歌う時間を楽しんでいる。

<先生> パンビ(国分寺、橋本)、Barbie(吉祥寺)

このほか、2012年10月にはプロダクションと合同で一般公募のオーディションを開催し、メジャーデビューを目指すプロ志向ユニット「GQjam」が誕生しました!



写真:「第4回GOSPEL FOR PEACE」2013年6月1日(北川鉄雄撮影)